



整理番号	HT28323	分野	工学、人文	(キーワード: 液晶、国際経営、モノづくり)
------	---------	----	-------	------------------------

立命館アジア太平洋大学

日本のモノづくりと国際経営 ―液晶電卓の誕生から液晶テレビ、太陽電池へ―

先生(代表者)	中田 行彦 (なかた ゆきひこ) 国際経営学部・教授				
自己紹介	シャープ株式会社で液晶と太陽電池の研究・開発に携わっていました。この経験を踏まえ、技術をビジネスに導く「技術経営」を教えています。また、液晶産業と太陽電池産業を研究しています。				
開催日時・ 主な募集対象	平成 28 年 7 月 16 日(土)	(対象)	高校生	(人数)	40 名
	平成 28 年 7 月 17 日(日)		高校生		40 名
集合場所・時間	立命館アジア太平洋大学 B 棟 2 階		(集合時間)	10:00	
開催会場 (集合場所)	立命館アジア太平洋大学 住所: 〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1 アクセスマップ: http://www.apu.ac.jp/home/contents/access.html				
内 容					
<p>携帯電話、デジカメ、環境にやさしい自動車等は、日本の技術により作り出されています。日本の技術力=モノづくりの力は世界に誇れるものです。日本で生み出された液晶を例に、日本のモノづくりと国際経営を考えます。まず液晶の内部を解剖します。次にNHK ビデオ「プロジェクトX」を基に討論し、アジアからの留学生と一緒に考えます。また電卓の技術開発の歴史を、現物を見て考えます。好奇心豊かな学生の参加を待っています。</p>					
					
スケジュール				持 ち 物	
<p>* 7月16日 (土) 17日 (日) とも、同じ内容とスケジュールで実施します。</p> <p>10:00 受付 (立命館アジア太平洋大学 B 棟 2 階)、開場</p> <p>10:30 挨拶、オリエンテーション (日程、科研費の説明、研究者・学生の紹介 等)</p> <p>10:50 液晶解剖の説明「液晶はどのように動作するの？」(中田行彦先生)</p>				<p>筆記用具、ノート (注: 昼食は持参不要)</p>	

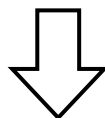
11:00 液晶の分解・解剖	特記事項
12:00 昼食（学内カフェテリアで研究者、学生とともに食事）、施設見学	
13:00 DVD「プロジェクトX 液晶 執念の対決」視聴	
13:45 ビデオを基に小グループ討論、まとめ （各グループに学生が参加、指導）	
14:30 小グループ討論結果の発表（各グループに学生が参加、指導）	
15:15 クッキータイム、フリートーク	
15:45 講演「液晶からみた日本のものづくり（電卓の歴史）」	
16:30 修了式（アンケート記入、「未来博士号」授与）	
17:00 終了・解散	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	立命館アジア太平洋大学 リサーチ・オフィス 岡田 彩(おかだ あや)、竹林 誠悟(たけばやし せいご)
住所：	大分県別府市十文字原1-1
TEL 番号：	0977-78-1134
FAX 番号：	0977-78-1135
E-mail：	centers@apu.ac.jp
申込締切日：	平成 27 年 6 月 30 日(木)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
中田行彦	H19-H21	基盤研究(B)	19330092	液晶産業におけるメタナショナル経営によるグローバル競争と日本の競争力の研究
中田行彦	H17-H18	基盤研究(B)	17330096	液晶産業における日本およびアジア太平洋の競争戦略の分析と日本の競争力強化の研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。